

風水害対策

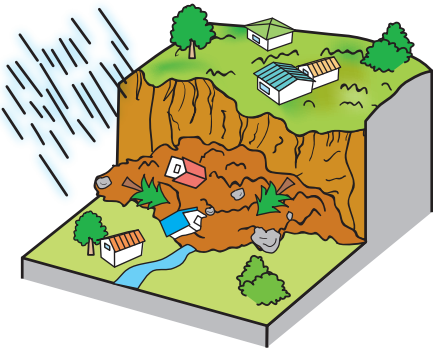
少しでも異常を感じたら、
すぐに避難しましょう。

土砂災害の種類

土砂災害は大きく分けてがけ崩れ・地すべり・土石流の3種類がありますが、
香取市では「がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)」の危険性があります。
土砂災害から身を守るために、どんな場所が危険であるかを知り、災害に備えましょう。

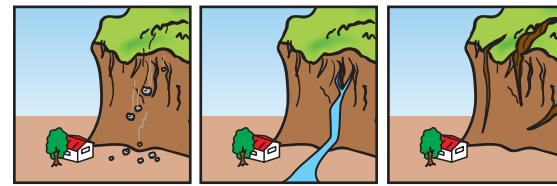
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い。



土砂災害の前兆現象に注意!!

一瞬にして崩壊します



がけから小石がおちてくる
がけから水が湧き出ている
がけに亀裂が見える

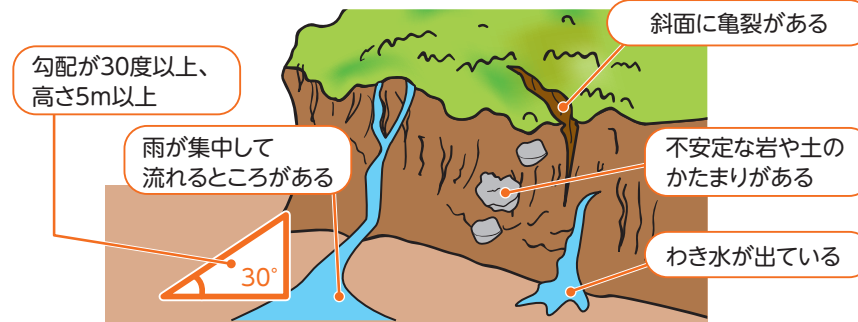
前兆現象を見つけたら...

香取市役所 0478-54-1111(代)へ

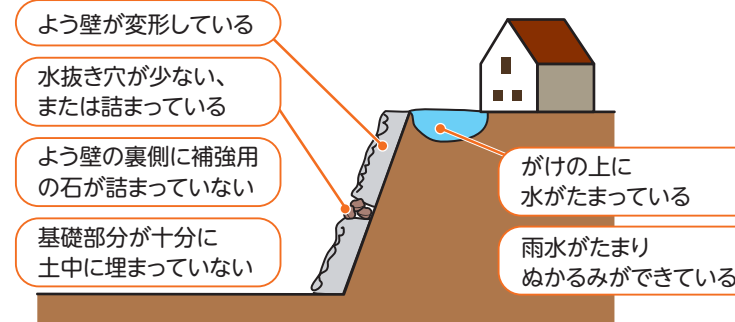
危険箇所をチェックしよう

勾配が30度以上あるがけは、大雨により崩れる危険性が高い場所です。
また、がけや盛り土の崩落を防ぐためのよう壁も、その構造や築年数の経過によっては崩れる危険性があります。
日ごろから家の周囲をよく見て、危険箇所がないかチェックしておきましょう。

こんながけに注意!!



こんなよう壁に注意!!



土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まった時に、気象庁と千葉県が共同で発表する情報です。
情報は市町村単位で発表され、市の防災活動や避難勧告等の判断を支援し、住民の皆さんの自主避難の判断にも利用できます。
自宅近くが土砂災害(特別)警戒区域に指定されている場合は、非常に危険な状態になりますので、早目に避難をしましょう。

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

イエローゾーン・レッドゾーン

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

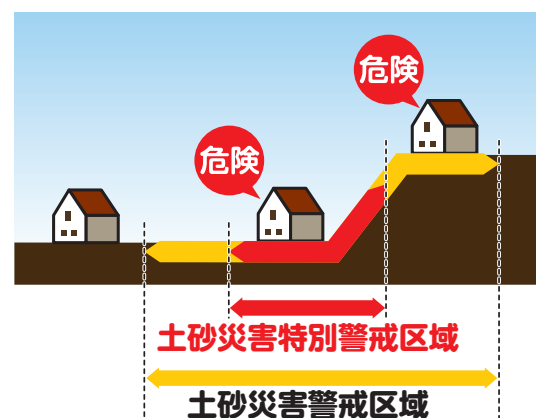
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域は、土砂災害防止法に基づき、千葉県が指定しています。
*土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域
(通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

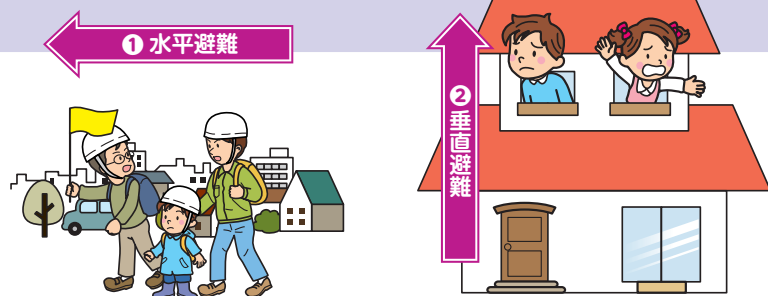
土砂災害特別警戒区域
(通称:レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



避難行動のポイント

1. 上記の土砂災害の事象に注意し、早めの避難をする。
2. 土石流やがけ崩れの起こる方向に対して横方向に避難(水平避難)する。
3. 夜中や大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上の山の反対側の部屋など堅固な建物の上階へ避難(垂直避難)することも考慮しましょう。
4. 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難を行う。
5. 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難を行う。



火災対策

火災発生!
そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を大声で知らせ、すみやかに119番通報を。
初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1

早く知らせる

- 「火事だ!」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければ、やかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2

早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。初期消火の限度は炎が天井に届くまで。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなどの手近なものを活用する。

火元別
初期消火の
コツ



油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ

消火器がなければ、濡らした毛布などで覆い、その上から一気に水をかけて消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(繊維は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃えひろがったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3

早く逃げる

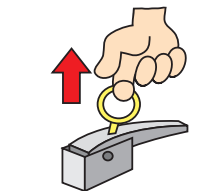
- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。
- 一酸化炭素などの有毒ガスを含んだ煙を吸い込まないように低い姿勢でマスク・タオル等で口をふさいで逃げる。



消火器の使い方

消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指を
かけ上に引き抜く。



ホースをはずして
火元に向ける。



レバーを強く
握って噴射する。

かまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



火災警報器の設置義務化

火災予防
が一番!!

消防法の改正により、
住宅火災警報器の
設置が義務付けられました。

- 新築の場合は、平成18年6月1日から
- 既存の住宅は、平成20年6月1日から

火災警報器の設置が義務づけられている場所

- 寝室...すべての寝室(子供部屋や老人の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段...寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所...義務ではありませんが、設置を推奨します。

※住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感じなくなることがあるため、10年を目安に本体の交換が推奨されています。

